

CENTENARY

2010. 11. 24

第 60 号

兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

30人の幼稚園児が

やって来た!

昨年はインフルエンザで中止となった「ふれあい育児体験」が、今年は11月17日に第1回目が行われました。

ふれあい育児体験

これは、2年生の家庭科選択者24名(女子23・男子1)が、加古川幼稚園の5歳児30人を招いて、授業の一環として実際に育児を体験するというものです。



出迎える校長先生と「ボン太」

まずは本校の校長先生が、上着の内側から相棒の「ボン太」君を引っ張り出して紹介。園児たちは驚いたり喜んだり。もともと見ていた本校職員はもつと驚いた様子だったとか。



相棒の「ボン太」君

実習は園児たちとクッキー作りに挑戦します。生徒たちが園児のアシスタントになって粉から焼くまで行います。粉をこねたり麵棒で伸ばしたり、力のいる仕事は生徒たちが応援しながら、型抜きしてオーブンへ。焼き上がるのを待つ間、園児たちは音楽の授業参観。お琴を聞いたり

触ったりして、ここでもみんな楽しそうでした。



黒一点のパティシエも大活躍

調理教室に帰って来るとクッキーが焼き上がっています。さーて、手づくりクッキーのラッピングだ。園児たちはみな、自分の焼いた温かいクッキーを抱えて大満足の様子。



クッキーが焼けたゾ! 美味しそう。

お別れの前に整列した園児たちが大きな声で「ありがとうございました」と言ってくれました。帰って行く園児たちに、またボン太君が手を振ると、「あつ、手で動かしとらんか」と鋭い指摘が上がる。これにはさすがの校長先生も……。



体育の授業も中断してお見送り

なお、ふれあい育児体験は2回あります。次回は12月1日の予定です。加古川幼稚園の「ばら組」さん30人の園児たち、24人のお姉さんとお兄さんが待っています。またいっしょにクッキーを焼きましょう。

ちょっと一言 本校には様々な選択科目があります。1年生では芸術ですが、2・3年生では進路希望や興味・関心に応じた科目が選択できるようになっています。今回紹介している「ふれあい育児体験」は、その選択科目の授業として実施されたものです。生徒たちは園児を迎え入れるため、使用する教室の飾り付けやクッキーのデザイン(?)を工夫するなど、準備段階から楽しんでいました。また、当日は園児と視線の高さを同じにしたり、ゆっくり話すなど、将来のお父さんやお母さんとしての練習をすることもできました。